

■川上音二郎 俳優・興行師。維新後の変革期を象徴する破天荒な人生を送り、日本の近代劇運動に先駆的役割。

かわかみおとしろう

禁門の変・1864＝九州博多の代々藍問屋の御用商人の家に生れた。父の代には石炭卸と船問屋をしていたが、

明治維新・1868＝4歳：

家が没落。

明治6年政変 1873＝9歳：博多を襲った筑前竹槍騒動を目撃して恐怖する。

佐賀の乱・1874＝10歳：尋常小学校に入学。

三つの反乱・1876＝12歳：母が死去し、

西南戦争・1877＝13歳：父が後妻を迎えたため出奔し、上京。芝増上寺で働き、福沢諭吉と会い、慶応義塾の塾僕にしてみらう。

琉球処分・1879＝15歳：慶応義塾を追放され、裁判所庶務課の給仕となる。以後、様々な職を転々として苦勞、

明治14年政変 1881＝17歳：洋傘修理業をしながら東海道を下り、博多に帰って巡査となる。

新体詩抄・1882＝18歳：京都で巡査になる。自由民権運動に同調し、政談演説で名をあげ、名古屋で政談演説会の弁士をつとめ、(日本立憲政党内閣)の発行名義人となって、数度にわたり投獄される。

岩倉具視没・1883＝19歳：内務省より演説禁止の箝口令を出される。

秩父事件・1884＝20歳：無法無政党内閣研究会を創立して、取調べを受ける。

内閣発足・1885＝21歳：京都府知事からも演説禁止令。講釈師となり、祇園の料亭でお披露目。

帝国大学始・1886＝22歳：言論取締りに反抗して講談落語で政治宣伝をしようと、桂文之助に弟子入りし、大阪で演説芸人になった。この時、オッペケベ節を開発。

国民之友始・1887＝23歳：京都の歌舞伎の一座に入るが、芸が下手なためすぐやめて、改良落語家に戻る。

初の対等条約 1888＝24歳：文書違反で拘引される。博多で滑稽演説会。大阪で「オッペケペー」をうたい大評判になる。

帝国憲法発布 1889＝25歳：

帝国議会始・1890＝26歳：(書生仁和加一座)を結成し、横浜、ついで東京で公演。

足尾鉍毒始・1891＝27歳：父母上京。市川團十郎と会う。*「日本改良演劇」と銘打って一座を結成、大阪で初公演ののち、横浜公演を成功させ、(川上壮士一座)として東京中村座に進出。「板垣君遭難実記」や政治、風俗を風刺した専売のオッペケペ節により、歌舞伎にない風変りが評判になり、新派の草分けとなった。役者と観客が大喧嘩をして取監されるも、

大本教・1892＝28歳：俳優募集の新聞広告を出し、一家を初めて構える。*園遊会に招かれ、皇后の台覧の榮に浴し、さらに伊藤博文や有栖川宮が芝居見物に来るまでになった。

郡司千島探検 1893＝29歳：父が死去。しかし技術の低さを知り、ヨーロッパ旅行に出、フランスから台本を持って帰国。

日清戦争始・1894＝30歳：探偵劇「意外」「又意外」「又々意外」の続演し、日清戦争が起こるとすぐ戦争劇「壯絶快絶日清戦争」を出して、ともに大当りになる。戦況視察のため、渡韓し、帰国。「川上音二郎戦地見聞日記」を皇太子の前でも公演。芸妓の貞奴と金子堅太郎(音二郎と同郷)の媒酌で正式に結婚する。

日清戦争終・1895＝31歳：歌舞伎座に初出演。この頃から一座に内紛が起きて脱落者が出る。

白馬会・1896＝32歳：川上座を開場した。アイデアに富み、欧米からの吸収に大口で、興行的にも俗受けしたが、彼のいう「改良劇」や「正劇」は実らなかった。

子規句歌革新 1898＝34歳：衆議院議員選挙に二度立候補するが、いずれも落選。演劇も不評となり、川上座も債権者の手に渡る。

Bushidou・1899＝35歳：妻で女優の貞奴ら一座と欧米巡業に出る。アメリカ上陸直後、興行の収益を持ち逃げされたりするが、

ビア国産化・1900＝36歳：*マッキンレイ大統領に会って、その前でアメリカ批判の演説をし、またロンドンでウェールズ殿下の前で劇を演じ、さらにパリの万国博覧会場内の劇場に出演して人気者になり、その上フランス大統領の園遊会に招かれて、勲章までもらうという華々しさ。この間に後輩は壮士劇を脱して新派劇の基礎を築く。

田中正造直訴 1901＝37歳：一旦帰国して「漫遊記」を出し、再び欧州巡業に出た。

教科書疑獄・1902＝38歳：*各国を廻り、ロシア皇帝から金時計を贈られるなどして、帰国したが。

日比谷公園・1903＝39歳：シェイクスピア「オセロ」を「正劇」と銘打って公演。

その後色々と試みて興行を続けるも、評判は芳しくなく、

日露戦争終・1905＝41歳：

満鉄発足・1906＝42歳：俳優を引退。以後は興行師に転じ、

韓国反日暴動 1907＝43歳：新派の大同団結を図ったり(失敗に終わったが)、

アヲキ創刊・1908＝44歳：貞奴の「帝国女優養成所」を開設したり、

伊藤博文暗殺 1909＝45歳：革新興行団を結成して巡業したり、

韓国併合・1910＝46歳：小劇場帝国座を開くなど、日本の近代劇運動の先駆的役割を果たすが、

大逆事件判決 1911＝47歳：腹膜炎が悪化し、帝国座の舞台の上で、没した。